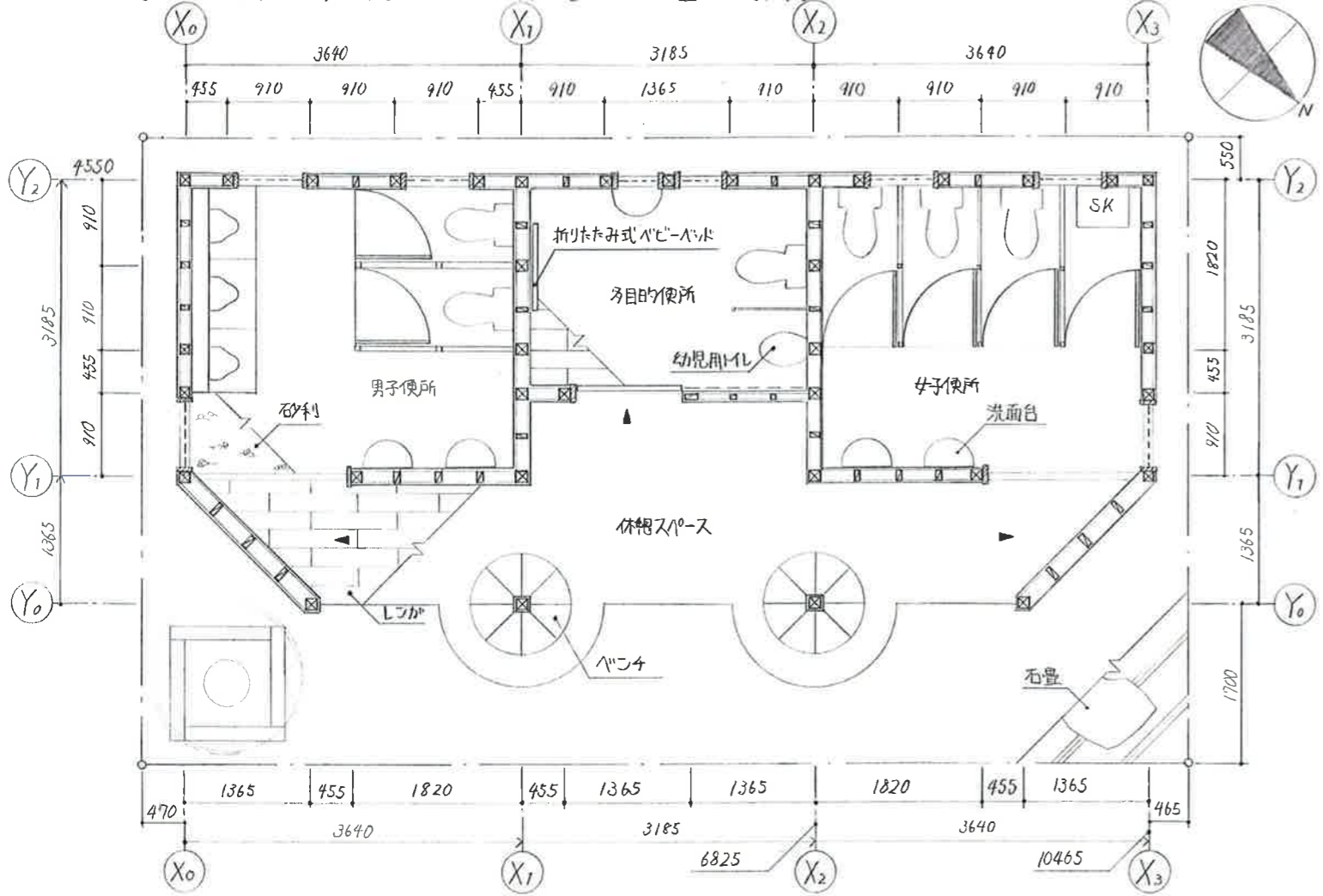
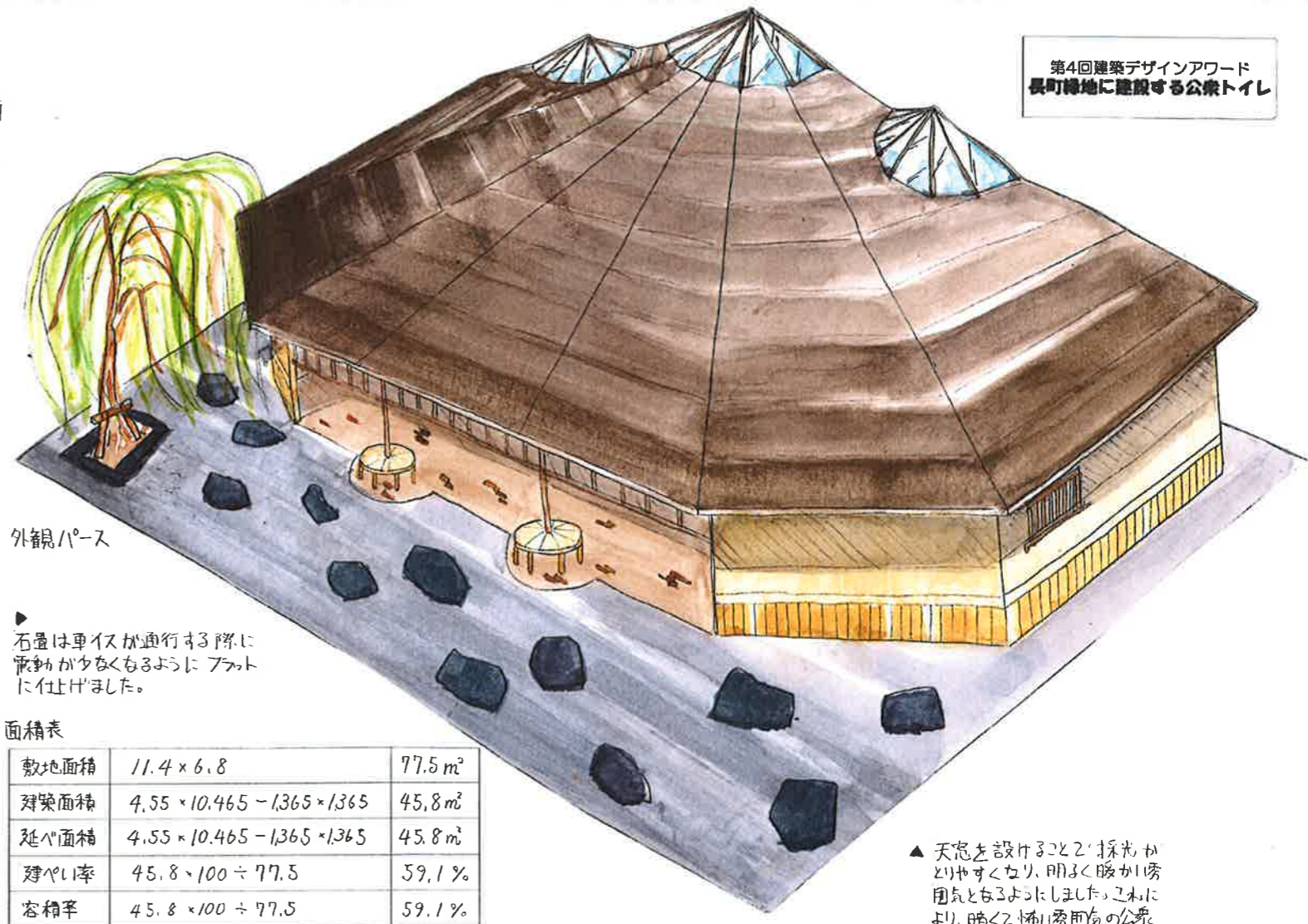


コンセプト

全体的に和の感じを出すために番傘のイメージがある屋根形状としました。また、格子や石畳を上げることによって金沢の町屋街と連続させる外観としました。内観は床に石利を敷き、トイレ内でも外を歩いているような雰囲気になるようにしました。そうすることで公衆トイレの中の窮屈な印象を和らげました。休憩スペースは円形のベンチとし、少ないスペースでできるだけ多くの人々が休むことができるように工夫しました。大きな番傘の下で風流を感じながら、金沢の町屋街の雰囲気を楽しめることだと思います。



配置図兼平面図 1:50



外観パース

石畳は車イスが通行する際に摩擦が少なくなるようにフラットに仕上げました。

面積表

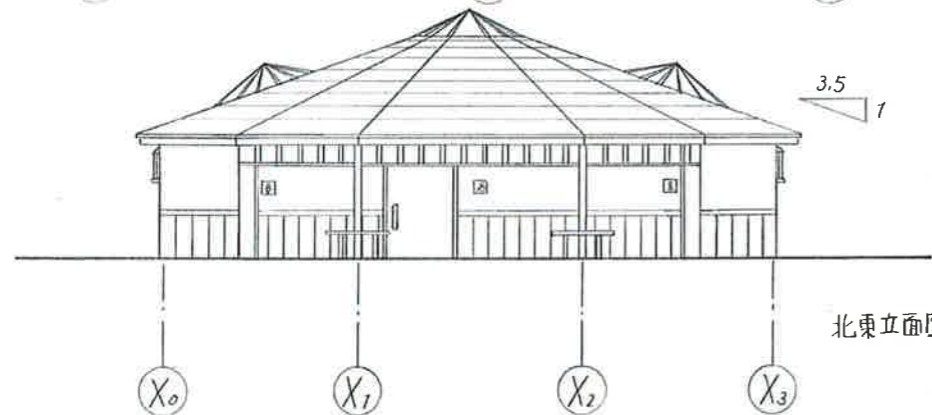
敷地面積	11.4 × 6.8	77.5 m ²
建築面積	4.55 × 10.465 - 1.365 × 1.365	45.8 m ²
延べ面積	4.55 × 10.465 - 1.365 × 1.365	45.8 m ²
建ぺい率	45.8 ÷ 100 ÷ 77.5	59.1 %
容積率	45.8 × 100 ÷ 77.5	59.1 %

耐震上で配慮した点

- ・すべりの柱に120×120の木材を使用した。
- ・柱配置をほぼ左右対称にした。

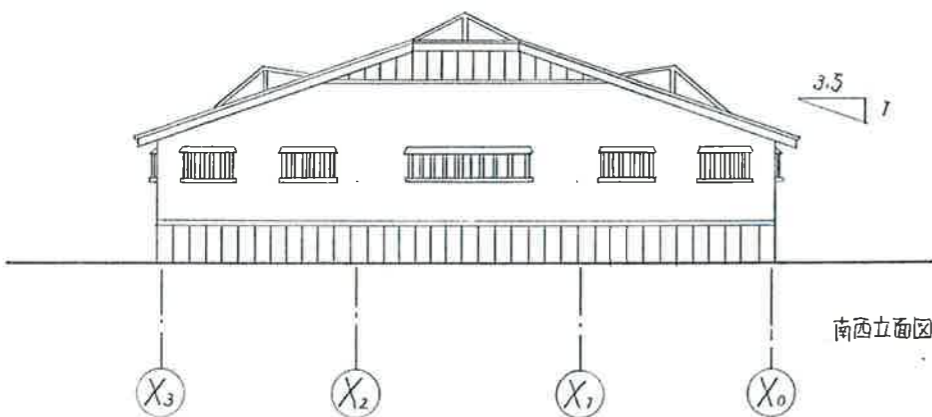
▲トイレの入り口を1つにし、大きく広げた形状とした。そうすることで、使用者の視線が広いスペースと交差し、人々の交流を図ることが出来ます。

▲天窓を設けることで採光がとりやすくなり、明るく暖かい雰囲気となるようにしました。これにより、暗くこもり気味の公衆トイレより使いやすくなります。



北東立面図 1:700

◀天井は高めとし、開放感のある空間づくりをします。



南西立面図 1:700

◀多目的トイレの扉は車イスが45度の方が使いやすいように幅を多くとりました。また、多目的トイレ内のスペースは、車イスでも自由に動くことが出来るように広いスペースをとりました。

◀格子窓は開口部となっており換気がしやすく、空間が通抜けやすい空間としました。

全体配置図 1:200

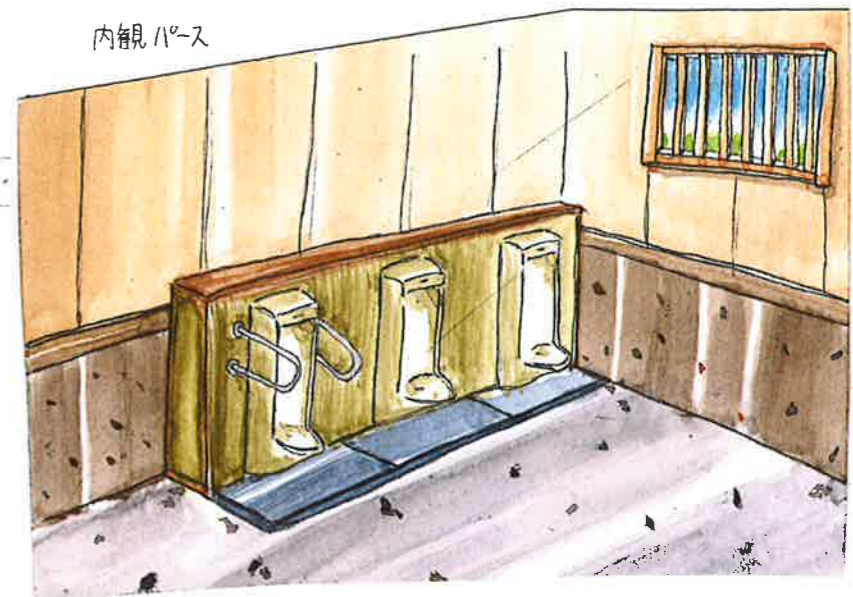
多目的トイレの床は、車イスがスムーズに通れるように、レンガで仕上げてあります。



便器の色は内装となじみ配色としました。これにより、金沢の町屋街の雰囲気をよく出すことが出来ます。

▼小便器の下には汚濁石を敷き、掃除がしやすく汚れが目立たないようにしました。

内観パース



▲石利の下には排水口があり、掃除をする際に水を使っても水たまりが起きないようにしました。そうすることでトイレの使用者も、使いやすくなります。